

平成 27 年 12 月 28 日

各 位

東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号
株 式 会 社 エ ス プ ー ル
代表取締役会長兼社長 浦 上 壮 平
(コード番号:2471)
問 い 合 せ 先 :
取締役管理本部担当 佐 藤 英 朗
電 話 番 号 03 (6859) 5599 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 7 月 2 日に公表いたしました平成 27 年 11 月期(平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日)の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 11 月期通期連結業績予想の修正(平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日)

(単位:百万円/未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,518	150	140	66	22 円 21 銭
今回修正予想 (B)	7,267	59	49	△68	△22 円 86 銭
増減額 (B - A)	△250	△91	△90	△135	
増減率 (%)	△3.3	△60.5	△64.7	—	
(ご参考) 前期末実績 (平成 26 年 11 月期)	6,604	207	191	165	58 円 89 銭

2. 修正の理由

売上高につきましては、人材ソリューション事業においては、人材派遣サービスがコールセンター業務を中心に順調に拡大しました。しかしながら、ビジネスソリューション事業では、ロジスティクスアウトソーシングサービスにおける大口顧客との契約終了及び、平成 27 年 7 月に開始したスマートメーター設置業務の立ち上げ遅れの影響により、全体では予想を下回る結果となりました。

一方、損益面につきましては、人材ソリューション事業においては、売上の増加により計画を上回る利益を確保することができましたが、ビジネスソリューション事業では、ロジスティクスアウトソーシングサービスが売上未達となったことに加え、スマートメーター設置業務に関し、先行支出が当初の予想を上回ったほか、業務習熟に想定以上の時間を要した結果、売上総利益率が大きく低下しました。その結果、連結営業利益及び経常利益が前回予想を下回ることとなりました。また、スマートメーター設置業務の事業計画の遅れから繰延税金資産の一部取崩等があり、当期純利益は前回予想を大きく下回る結果となりました。

以 上

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることにご留意ください。